

SaaSセキュリティ診断サービス

そのクラウドサービス 本当に安全ですか？

https://www.kccs.co.jp/secureowl/solution/assess_consulting/saas_assessment/



事故が起きているようだけど **セキュリティが心配**
クラウドサービスの **機能が多すぎて** 把握できない

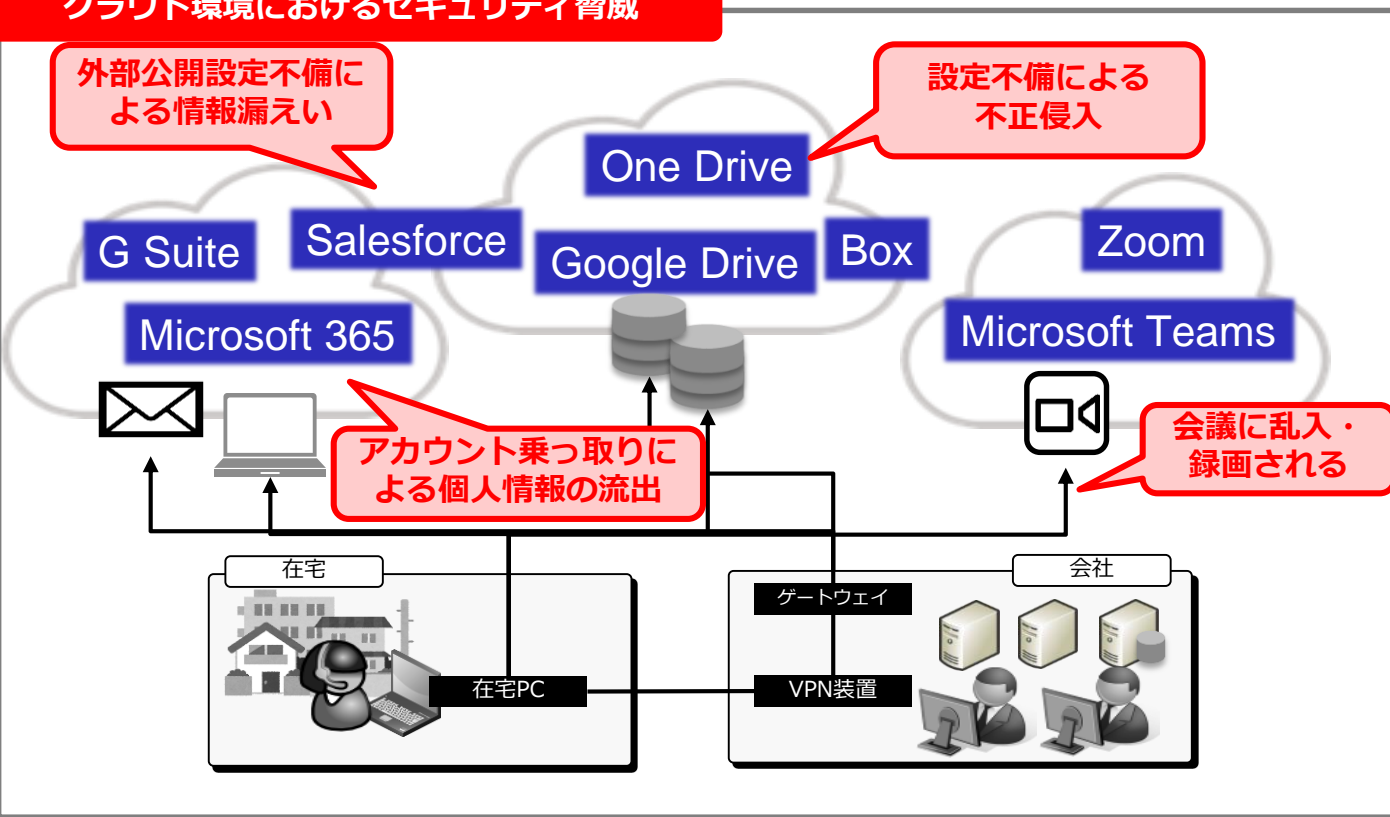
クラウド環境におけるセキュリティ脅威

外部公開設定不備による情報漏えい

設定不備による不正侵入

アカウント乗っ取りによる個人情報の流出

会議に乱入・録画される



“クラウドセキュリティ診断サービス”

で脅威に備えませんか？

サービスメニュー

- ・ Microsoft 365診断
- ・ Salesforce診断
- ・ Google Workspace診断
- ・ Box診断
- ・ Zoom診断

※サービス随時拡大中！

レポートイメージ

KCCS独自の診断項目やCISベンチマーク、開発ベンダーから提唱されているベストプラクティスに基づき診断を実施し、診断結果をレポートします。

- 診断結果概要 -

診断結果

適合項目

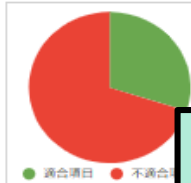
12

不適合項目

28

全体
40

適合率
30.00%



診断項目

CISベンチマーク大項目	適合項目数		不適合項目数
	Level 1	Level 2	
1 Account / Authentication	1	0	6
2 Application Permissions	0	2	0
3 Data Management	1	2	0
4 Email Security / Exchange Online	2	1	7
5 Auditing	2	0	9
6 Storage	0	1	1
全体		12	

不適合項目ごとに
不適合の根拠や**対策方法**をご報告

- 不適合項目詳細 -

項目	1.1 Ensure multifactor authentication is enabled for all users in administrative roles
重大度	Level 1
概要(英文)	<p>Enable multifactor authentication for all users who are members of administrative roles in the Microsoft 365 tenant.</p> <p>These include roles such as:</p> <ul style="list-style-type: none"> Global Administrator Exchange Administrator SharePoint Administrator Password Administrator Skype for Business Administrator Service Administrator User Management Administrator Dynamics 365 Service Administrator Power BI Administrator
概要(日本語)	<p>Microsoft 365テナントの管理権限を持つすべてのユーザーに対して多要素認証を有効にします。</p> <p>以下の管理権限を持つユーザーが対象となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体管理者 Exchange管理者 SharePoint管理者 パスワード管理者 Skype for Business管理者 サービス管理者 ユーザー管理管理者 Dynamics 365サービス管理者 Power BI管理者 <p>多要素認証ではユーザーによるアクセスを許可される前に最低限2種類の認証形式を採る必要があります。多要素認証はアクセスしようとしているユーザーが本人であることを保証します。</p> <p>また攻撃者は少なくとも2つの異なる認証メカニズムを実装する必要があり、不正侵入の難易度が増すことによりリスクが軽減されます。</p> <p>不適合の根拠 管理権限を所有しているユーザーに対しての多要素認証が無効です。</p> <p>主なリスク 多要素認証が無効ではない場合、パスワードが流出した際に不正なアクセスを防げない可能性が高くなります。</p> <p>改善策による影響 ユーザー側のログインなどによる操作が1ステップ増加します。</p>

適合・不適合項目数や
各診断項目ごとの統計をレポート

サービスご提供フロー

事前準備

診断(約1週間)

報告書作成(約2週間)

Step 1

事前ヒアリング

事前に環境のヒアリングやサービスの流れ、スケジュール等の確認を実施いたします。

Step 2

環境の設定

お客様にてクラウド環境の設定をお願いしております。設定マニュアルは事前にご提示いたします。

Step 3

診断の実施

クラウド環境の診断を実施します。

Step 4

報告書作成

診断結果をもとに不適合項目を抽出し、報告書にまとめます。

Step 5

報告会実施

ご要望に応じて報告会を実施します。(オプション)

診断サービスに関する注意事項・補足事項

- クラウドサービスの管理者アカウント情報のご提供が必要になります。
※ ご提供いただけない場合、お客様先での作業となるためオンサイト対応費用が発生します。
- クラウドサービス側の一部設定作業を行います。診断後、設定の切り戻しについてはお客様にてご対応をお願いします。
- 報告会の開催が遠方の場合は別途費用が発生します。
- 本診断はZoom、Microsoft 365、Box、Salesforce、Google Workspace、AWS、Microsoft Azure、GCPが対象となります。その他のクラウドサービスの診断をご要望の場合は、ご相談ください。

●記載の製品ならびにサービス名および会社名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。●サービス内容は予告なく変更する場合があります。●KCCSは京セラコミュニケーションシステム株式会社の略称です。



京セラ コミュニケーションシステム株式会社

KCCSカスタマーサポートセンター

フリーコール 0120-911-901

携帯電話・PHS・IP電話など 050-2018-1827

受付時間 平日9:00 ~ 17:00

(17:00以降のお問い合わせは自動応答になります。)

KCCSホームページ <https://www.kccs.co.jp/>

E-mail: kccs-support@kccs.co.jp